

貸借対照表

平成18年3月31日現在

科 目	合計	一般会計	EAAC特別会計
資産の部	円	円	円
1 流動資産			
現金	578,612	578,612	-
普通預金	98,849,045	98,849,045	-
公社債投資信託	61,180,546	61,180,546	-
流動資産合計	160,608,203	160,608,203	-
2 固定資産			
国際会議記念基金			
普通預金	29,605,958	29,605,958	-
定期預金	3,000,000	3,000,000	-
公社債投資信託	47,000,000	47,000,000	-
国際会議記念基金合計	79,605,958	79,605,958	-
その他の固定資産			
建物附属設備	9,303,555	9,303,555	-
什器備品	1,330,982	1,330,982	-
敷金・保証金	8,713,870	8,713,870	-
EAAC準備引当金預金	4,552,618	-	4,552,618
退職給与引当預金	4,858,900	4,858,900	-
その他の固定資産合計	28,759,925	24,207,307	4,552,618
固定資産合計	108,365,883	103,813,265	4,552,618
資産合計	268,974,086	264,421,468	4,552,618
負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,854,100	1,854,100	-
流動負債合計	1,854,100	1,854,100	-
2 固定負債			
退職給与引当金	3,004,800	3,004,800	-
固定負債合計	3,004,800	3,004,800	-
負債合計	4,858,900	4,858,900	-
正味財産の部			
正味財産	264,115,186	259,562,568	4,552,618
(うち国際会議記念基金)	(79,605,958)	(79,605,958)	(-)
(うち当期正味財産減少額)	(2,792,668)	(4,739,328)	(-1,946,660)
負債および正味財産合計	268,974,086	264,421,468	4,552,618

注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準および評価方法について
有価証券については、原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却について
有形固定資産の償却は定額法により行っている。
- (3) 引当金の計上基準について
退職給与引当金は期末の要支給額の100%を計上している。
- (4) 資金の範囲について
現金、預金および有価証券としている。
- (5) 消費税等の会計処理について
消費税等については、税込方式によっている。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

現金	578,612
普通預金	98,849,045
公社債投資信託	61,180,546
合計	160,608,203
次期繰越収支差額	160,608,203

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	11,477,092	2,173,537	9,303,555
什器備品	1,631,200	300,218	1,330,982